

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【上下水道局関係】</p> <p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道事業における老朽施設の計画的な更新を促進されたい。人口減少に対する施設の集約化や技術の継承を図られたい。 	<p>水道施設の更新につきましては、「もりおか水道施設整備構想」及び「第三次盛岡市水道事業基本計画」に基づき計画的に進めているところであり、浄水場等施設につきましては、将来の人口減少を見据えた施設整備や浄水場の集約化について、重点的に取り組んでおります。管路につきましては、老朽化した管路の更新を最優先に進めているところでございます。</p> <p>老朽化した下水道施設につきましては、平成24年度に策定した「盛岡市下水道長寿命化計画」に基づき、国の交付金を活用し計画的な改築更新に努めているところでございます。処理施設については、平成26年度から東安庭二丁目地内の中央監視制御棟設備更新工事を実施しており、管路施設については、平成26年度から菜園・内丸地区の合流管の管更生工事を実施し、施設の更新（延命化）を推進しているところです。なお、下水道施設全体のストックマネジメント計画については、今後、策定を進めるところでございます。</p> <p>また、農業集落排水につきましては、対象集落の人口減少を見据えて、公共下水道への接続に関する具体的検討を進め、平成30年度末の農業集落排水施設最適整備構想の策定に向け作業を進めております。</p> <p>なお、技術の継承につきましては、OJTなどによる職場研修を実施しているほか、水道技術研修施設を活用した技術継承研修、八戸圏域水道企業団・岩手中部水道企業団とのパートナーシップに関する覚書に基づく研修などを実施し、現場技術の習得や職員の技術力向上を図っており、引き続き技術の継承に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部総務課・水道建設課・下水道整備課）</p>
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水道事業広域化にむけた工程や概要を早期に市民に示されたい。 	<p>水道事業の広域化につきましては、平成28年2月29日付け総務省通知「市町村等の水道事業の広域連携に関する検討体制の構築等について」及び同年3月2日付け厚生労働省通知「水道事業の広域連携の推進について」が各都道府県あて発出され、都道府県においては広域連携に関する検討体制を平成28年度中の早期に設置し、できる限り平成30年度までを目途に検討を行い、検討結果を公表すること等が求められているところです。</p> <p>岩手県においては、総務省及び厚生労働省の通知を受け、平成29年1月23日付けにて「岩手県水道事業広域連携検討会」が設置され、県内5ブロックの検討会により検討が行われているところです。</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」平成31年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新米内浄水場整備の全体像を市民に公表されたい。 <p style="text-align: right;">P 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道熱の利活用を実現されたい。 	<p>県内5ブロックのうち、盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、岩手町、矢巾町の6市町で構成する「盛岡広域ブロック検討会」においては、盛岡広域水道圏における現況と課題の整理のほか、他都市の取組事例の整理やその事例内容に対する取組可能性の検討等を進めており、上記の国通知に基づき、平成31年3月までを目標として、平成30年度までの検討経過や検討状況等を取りまとめて公表する予定としています。</p> <p>盛岡広域水道圏における広域連携等の取組につきましては、平成31年度以降も継続して構成市町とともに情報交換等を行い、今後の方向性を検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(上下水道部経営企画課)</p> <p>米内浄水場につきましては、創設から84年を経過しており、施設の更新について検討を進めているところであり、平成40年代半ばの完成を目標としております。施設内容の検討や今後の関係機関等との協議を踏まえ、全体像が決定しましたら市民に公表することとしております。</p> <p style="text-align: right;">(上下水道部水道建設課)</p> <p>下水道熱を利活用した施設は、過去に市内で導入した事案がありますが、現在事業中の箇所においては、見込んでいるところはありません。しかしながら、新たな下水道の役割を積極的に果たしていくため、今後につきましても他都市の事例について注視してまいりたいと存じます。また、下水道熱を活用した他都市での融雪装置への導入事例などがございますので、活用していただける事業者への積極的な情報提供に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(上下水道部下水道整備課)</p>